平和教育の取組事例報告書

報告年月日　　令和 4 年 3 月 30 日
都市名・国　　新潟県　上越市

取組の名称	令和 3 年度平和展　～スポーツと戦争～
実施主体 （該当項目に✔）	□学校　☑自治体　□ＮＧＯ　□複合（　　）
テーマ・目的	市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを再確認する機会を提供し、平和を尊ぶ市民意識の向上及び非核平和友好都市宣言の趣旨の普及を図る
対象者 （年齢･学年、人数等）	市民ほか
実施場所	小川未明文学館　市民ギャラリー（高田図書館内）
実施期間	令和 3 年 7 月 9 日～令和 3 年 8 月 15 日（32 日間）※休館日を除く （平成 20 年度から実施）

取組の概要（授業、イベントはプログラムの次第を、その他（例：コンテスト等）はそのプロセスを、具体的に記入してください。）

・平和の機運が高まる 7 月から 8 月にかけて、戦争や平和について改めて考えていただく機会として、毎年テーマを決め、様々な資料展示などを行っている。
・戦争の影響で幻となった昭和 15 年の札幌・東京オリンピックに関する資料や戦時中のスポーツ大会、スポーツに関わる資料の展示。
・広島市立基町高等学校の生徒が被爆の実相を絵画として後世に残すために被爆者と共同で制作した原爆の絵のパネル展示。
・市内であった戦争にまつわる出来事に関する資料展示。
・平和に関する DVD 上映、折り鶴コーナーの設置。
・資料提供者による展示資料のガイド会。
・戦争や平和に関する紙芝居や絵本の読み聞かせ。

参加者の反応

・昨年も来場したが、当時の戦争に関する資料や戦争体験談などを見て、戦争の悲惨さを改めて感じた。
・戦争とスポーツに関係する資料がとても分かりやすく展示されていた。新型コロナウイルス感染症のため東京オリンピック 2020 の在り方が問われたが、戦争の時代もオリンピックが中止に追い込まれた経緯などを知り、平和な今を再確認した。

成果

開催期間中、市内外から約 1,500 人の方々に来場いただき、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えることができた。

課題

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、来場者数が昨年から大きく減少した。多くの方から来場いただけるよう内容の工夫や周知、PR に努める。

取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）

実物資料、パネル（データ提供：昭和館ほか）、原爆の絵（広島平和記念資料館提供）、戦争体験談集、戦争体験証言者 DVD

上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議の WEB サイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）

□掲載可能（素材を添付してください）　☑掲載不可　□不明

※　画像等の資料がある場合はメールに添付して提出してください。